

企業版ふるさと納税 寄附対象事業のご紹介

V.202411



寄附対象事業

▶ 「仙台市地方創生総合戦略」で位置付けられる事業

仙台市地方創生総合戦略が掲げる5つの基本目標**1. 魅力ある「しごと」づくり**

地域経済の中心である中小企業の活性化やイノベーション創出を通じて、魅力ある「しごと」をつくります

2. 新たな「ひと」の流れづくり

地域の魅力発信による交流人口の拡大・若者の地元定着や、域内外からの投資の誘引をはかります

3. 子育てを楽しめる社会の実現

希望する方が安心して結婚、出産でき、子育てを楽しめる社会の実現に取り組みます

4. 持続可能でしなやかな「まち」づくり

豊かな自然環境と防災・減災への取り組みが調和した、防災環境都市づくりを推進します

5. 地域特性に合わせた多様な主体が活躍できる社会づくり

杜の都の個性を活かし、誰もが安心して暮らし、学び、思い思いに活躍できるまちづくりを進めます

本資料でご紹介する事業

はじめに

1. 魅力ある「しごと」づくり

- P 3 | 地域中核企業輩出支援パッケージ
- P 4 | 農業イノベーション
- P 4 | 農食ビジネスの推進
- P 5 | 起業家・スタートアップ支援
- P 6 | 成長産業振興事業

2. 新たな「ひと」の流れづくり

- P 7 | 3 GeV高輝度放射光施設NanoTerasu関連産業振興事業
- P 8 | 若者の仙台への定着促進「仙台で働きたい！プロジェクト」
- P 9 | 国内外からの誘客・滞在の促進
- P 10 | 杜の都・仙台のまつり支援
- P 11 | 音楽ホール・中心部震災メモリアル拠点複合施設整備
- P 12 | まちなかウォークラブル推進事業
- P 13 | 八木山動物公園魅力アップ事業
- P 14 | 文化財の継承・普及啓発事業

3. 子育てを楽しめる社会の実現

- P 15 | 子育て応援の気運醸成事業
- P 15 | 子どもの遊びの環境充実事業
- P 16 | 妊娠・出産・子育て期にわたる切れ目のない支援事業
- P 17 | 仙台自分づくり教育推進事業
- P 17 | ICT教育推進

4. 持続可能でしなやかな「まち」づくり

- P 18 | 防災環境都市づくり推進事業
- P 19 | 震災メモリアル事業
- P 20 | 脱炭素都市づくり推進事業
- P 21 | ごみ減量・リサイクル推進事業
- P 22 | 東部地域みどりの再生事業
- P 23 | 緑の保全事業
- P 24 | 地域交通運行確保・運行支援事業

5. 地域特性に合わせた 多様な主体が活躍できる社会づくり

- P 25 | 「Full Digitalの市役所」推進事業
- P 26 | P H R利活用による健康づくりプロジェクト
「せんだい My Health Log」
- P 27 | ハナミドリエ事業
- P 28 | 文化芸術の力を活かしたまちづくりの推進
- P 29 | ダイバーシティ推進事業

地域中核企業輩出支援パッケージ

魅力ある「しごと」づくり

- 仙台・東北の地域経済を牽引する「地域中核企業」の輩出を目指し、各企業の課題に応じた様々な施策により、地元企業に対する重層的な支援を行います。

¥ 経済的インパクト

域内取引の増加や「外貨」の獲得
雇用の増加、賃金の引き上げ等

+

☆ 社会的インパクト

企業の存在やその企業での働き方
生み出す商品・サービス等が
本市の魅力につながる



地域に両方のインパクトを
もたらす企業

“地域中核企業”の輩出を目指す



取組内容（R6年度）

仙台「四方よし」企業表彰



「売り手よし」「買い手よし」
「世間よし」「働き手よし」
な企業の取組みを表彰！

プロフェッショナル人材活用による 中小企業の課題解決支援



スキル・ノウハウを持つ外部人材とともに
経営課題の解決を目指す！

地域中核企業輩出集中支援

成長意欲ある市内企業を選定し、伴走支援を実施！



（R6選定企業5社のキックオフセレモニーの様子）

企業の皆様へのメッセージ

東北地方の急激な人口減少の中で、仙台・東北が今後も維持・発展していくためには、**地元企業の成長が不可欠です**。成長意欲ある地元企業を力強く後押しし、東北の地域経済活性化を実現するため、**ぜひ貴社のお力をお貸しください！**

担当：経済局 中小企業支援課 TEL022-214-7338



人材定着・組織開発プログラム

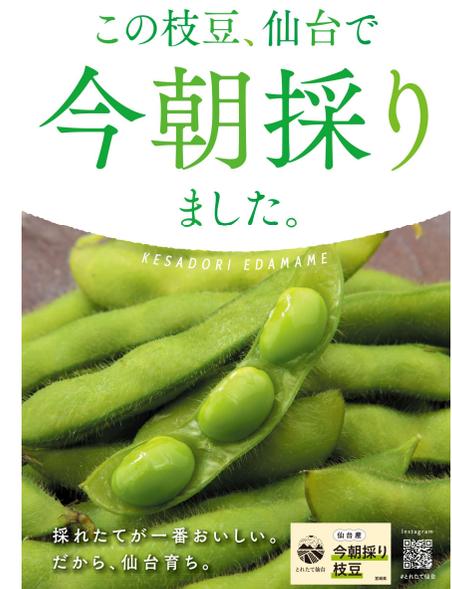
経営層に対し人材定着の仕組みづくりや
組織開発スキルの習得を支援！

その他、様々な事業者支援施策を実施中

農業イノベーション・農食ビジネスの推進

魅力ある「しごと」づくり

- 大学等と連携しながら農作業の省力化・効率化を実現するスマート農業等の新技術の普及を推進するほか、ウェブサイト・SNSを活用した情報発信や生産地と消費地の近さを活かした取り組みにより地産地消を促進します。



スマート農業機械等の新技術の活用により、栽培方法・作業体系、新たな栽培技術や作物の導入など、水田活用の可能性を探り、環境に配慮した収益性の高い輪作体系を構築する「みらいの仙台農業」に向けた取り組みを行っています。

生産地と消費地の近さを活かし、鮮度が重要な野菜をその日のうちに提供する「今朝採り枝豆」など農産物の付加価値向上の取り組みや、市内の飲食店で使用するマッチング、webサイト等での生産者の紹介など、地産地消につながる取り組みを行っています。

企業の皆様へのメッセージ

昔、江戸を流通する米の3分の2は「仙台米」と言われ、江戸をコメで支えていた仙台の農業。その伝統ある仙台農業を未来につなげるため、イノベーションによる新しい農業や地産地消の取り組みを一緒に進めてみませんか？

起業家・スタートアップ支援

魅力ある「しごと」づくり

- 起業や起業後の事業継続、成長を支援するとともに、次世代のスタートアップ人材の挑戦を支援し、社会的・経済的インパクトの創出に挑戦し続ける企業を連続的に生み出す環境を形成します。

起業・スタートアップの支援拠点・体制強化



仙台スタートアップスタジオ



仙台市起業支援センター
(アシ☆スタ)

ロールモデルとなるスタートアップの輩出



研究開発型スタートアップ育成



海外スタートアップイベント出展



社会起業家育成・支援プログラム

ロールモデル予備軍の発掘・育成



首都圏CXO候補人材／ベンチャー
キャピタルとのマッチング



オンラインコミュニティ形成

学生・若者のアントレプレナーシップ醸成



仙台グローバルスタートアップ
キャンパス



小中高生向け起業体験
ワークショップ

企業の皆様へのメッセージ

東日本大震災後、仙台・東北地域では「誰かのために」「地域のために」といった利他的マインドによる起業の動きが活発化しました。社会課題解決に挑戦する社会起業家の育成や事業の急成長を目指すスタートアップ企業の支援を通じて、仙台・東北から世界を変えるイノベーションの創出を目指しています。

成長産業振興事業

魅力ある「しごと」づくり

- 地域企業によるAI等の先端技術やデータ利活用による新事業創出支援、防災減災・健康福祉・農林水産業等の異分野との事業共創推進、事業創出を牽引する高度ICT人材の育成・確保に取り組み、付加価値の高いビジネスが持続的に生まれる環境を構築します。

AI・データ利活用の推進と人材育成



ビジネス創出ワークショップ



AI・データ活用新事業創出プログラム

防災減災・健康福祉等異分野との融合



防災ソリューションを創出する産学官連携プラットフォーム



Well-beingビジネスセミナー

実証実験を通じた開発・社会実装支援



全自動津波避難広報ドローンの実証・実装



オンライン診療導入に向けた電子聴診器の開発支援

IT人材の地域定着・UIターン支援



仙台IT企業限定オンライン合同説明会



地域IT企業とUIターン希望者のマッチング

企業の皆様へのメッセージ

仙台では、社会課題・産業課題・事業課題の解決をテクノロジーで実現するため、多くの地域企業や大学等の学術教育機関などが挑戦を続けています。社会人・学生・若者など、産学官の多様なプレイヤーが連携し、テクノロジーによる課題解決と経済成長を両立するイノベーションが生まれる地域を目指しています。

担当： 経済局 産業振興課 TEL022-214-8263

3GeV高輝度放射光施設NanoTerasu

関連産業振興事業

新たな「ひと」の流れづくり

- 本市は「せんだい都心再構築プロジェクト」と東北大学の「サイエンスパーク」を柱として、国内外の大学・研究機関や企業の研究開発部門が集積し、新たな価値創造の場となるリサーチコンプレックスの形成を進めています。
- ここで様々な分野の企業関係者や学術研究者、学生などとの交流からイノベーションが生まれ、産業基盤の発展や研究開発の国際競争力向上に寄与しながら、新たな産業技術を世界に向けて発信していくことを目指し、研究機関・企業の立地促進やNanoTerasuの利活用促進等に取り組んでいます。

01 NanoTerasu



NanoTerasu（ナノテラス）は物質をナノレベルで観察できる最先端の研究施設で、令和6年4月より運用を開始しました。学術・産業分野での活用のみならず、社会課題の解決への貢献も期待されています。

02 Research Complex



特定エリアに研究開発施設を集積し、所属機関や専門分野の枠を超えた研究者同士の交流からイノベーションが次々と生まれる「リサーチコンプレックス」の形成を推進しており、企業が続々と進出しています。

03 Support

Waku Waku
NanoTerasu
シェアリング2000

2000時間枠でイノベーションが湧く
わくわくする未来へ♪



本市の利用時間を活用し「NanoTerasuシェアリング2000」制度により、様々な分野・規模の全国の企業がNanoTerasuでの測定に取り組んでいます。また、NanoTerasuでの測定事例創出事業（トライアルユース）も実施しています。

企業の皆様へのメッセージ

ナノテラスの産業利用促進はもとより、研究開発機施設の誘致や開設支援などのリサーチコンプレックス形成の取組を更に加速させるべく、是非、企業の皆様のお力添えのほどよろしくお願いいたします。

若者の仙台への定着促進の取組

「仙台で働きたい！プロジェクト」

新たな「ひと」の流れづくり

- 就職活動に臨む学生のみならず、低学年の学生も対象に、「地域企業を知り、仙台での就職を考える」機会となるイベント等を実施しています。
- また、就職・転職ポータルサイト『仙台で働きたい！』を運営し、1,300社以上の企業情報やイベント情報、仙台で働く若手社員のインタビュー記事等を発信しています。



マッチングイベント
「センダイシゴト博」



少人数業界研究イベント
「センダイシゴト大学」



地元大学等と連携した就業体験
「みやぎの就業体験プログラム」



長期有給就業体験
「センダイシゴト体験」



ポータルサイト「仙台で働きたい！」

企業の皆様へのメッセージ

本市では、学生や若者の首都圏への流出に危機感を持っています。仙台で働くことの魅力等を効果的にアピールすることで、多くの若者の仙台での活躍につなげたいと考えております。企業の皆様にもぜひお力添えいただけますと幸いです。

担当： 経済局 商業・人材支援課 TEL022-214-1007

国内外からの誘客・滞在の促進

新たな「ひと」の流れづくり

- インバウンドを促進するために、東南アジア諸国を中心として市長等によるトップセールスや旅行博出展、海外メディア・旅行会社招請等のプロモーションを行っています。
- 交流人口の拡大を図るため、各種支援制度を活用したMICEの誘致や、MICE開催後の市内及び近隣地域への回遊促進の取組等を行っています。



市長によるトップセールスの様子

各種プロモーションを行い、仙台・東北の知名度向上や訪問意欲の喚起を目指しています。特に航空路線の維持・拡大は大きな誘客を見込めるため、仙台空港国際定期便の誘致活動にも力を入れています。



MICEの誘致・開催のための商談イベントの様子

大規模会議等のMICEの開催は、開催地に関係者が集い、人や情報のネットワークの構築や都市間競争力の向上につながるほか、本市の魅力を知っていただく絶好の機会です。国内・国外を対象に、誘致に取り組んでいます。

企業の皆様へのメッセージ

仙台市内における外国人宿泊者数は、コロナ前を上回る回復を見せていますが、全国に占める東北のシェアは2%以下であり、東北・仙台の認知度向上に向けて引き続きプロモーションを行っていく必要があります。ぜひ、企業の皆さまにもお力添えいただけますと幸いです。

杜の都・仙台のまつり支援

新たな「ひと」の流れづくり

- 1年を通して開催されているさまざまなまつりやイベントは、仙台の各季節の風物詩として、多くの市民や観光客で賑わっています。
- これらのまつりやイベントの多くは、市民が中心となって創り上げ、多くのボランティアに支えられています。

12月 SENDAI
光のページェント
R 5 来場者：200万人



冬

春



5月 仙台・青葉まつり
R 6 来場者：93万人



10月 仙台みちのくYOSAKOIまつり
R 6 来場者：60万人

秋

夏



9月 定禅寺ストリートジャズフェスティバル
R 6 来場者：70万人



8月 仙台七夕まつり
R 6 来場者：203万人



8月 仙台七夕花火祭
R 6 来場者：45万人

企業の皆様へのメッセージ

各まつりやイベントの開催経費は、物価や人件費高騰等の影響で増加傾向となっており、開催規模の維持、事業継続、伝統の継承、さらなる魅力の向上などを支援していく必要があります。是非、企業の皆さまにもお力添えいただけますと幸いです。

音楽ホール・中心部震災メモリアル 拠点複合施設整備

新たな「ひと」の流れづくり

- 生の音の響きを重視した2,000席規模の大ホールを備え、仙台の文化芸術の総合拠点となる音楽ホールと、防災環境都市・仙台ならではの災害文化の創造拠点となる中心部震災メモリアル拠点の複合施設を、本市のアイデンティティを象徴的に示す場所である青葉山エリアに整備します。
- 両拠点が有機的に結びつき、仙台ならではの創造・発信を行っていくことにより、交流人口・関係人口の拡大などを通じて都市の発展に貢献し、未来をより豊かにする施設を目指します。



令和6年度に設計者を選定する公募型プロポーザルを実施し(株)藤本壮介建築設計事務所を受注候補者に特定しました
※画像はプロポーザル時に同社より示された施設外観イメージ



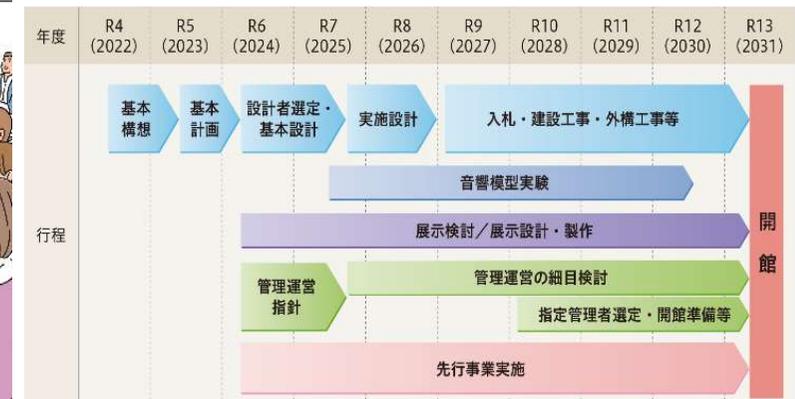
仙台国際音楽コンクール

仙台フィルハーモニー管弦楽団をレジデントオーケストラに位置づけ、仙台国際音楽コンクールの新たな会場となるなど、「楽都仙台」をさらに発展させる拠点となります。



中心部震災メモリアル拠点の活動イメージ

多様な主体の参画・交流により、災害を知り・日常的に備え・発生した災害を乗り越えていく「災害文化」を創造し、社会に定着させていく拠点となります。



整備スケジュール

令和13年度（2031年度）中の開館を目指し、着実に整備を進めます。

企業の皆様へのメッセージ

本施設は、東日本大震災からの復興とさらなる発展のメッセージを打ち出し、仙台と世界をつなぐ存在となることを目指しています。杜の都の新たなシンボルとなる施設の整備に向け、ご支援をお願いいたします。

まちなかウォーカブル推進事業

新たな「ひと」の流れづくり

- 居心地がよく巡り歩きたくなる人中心の都市空間の形成を推進する「まちなかウォーカブル推進事業」では、公共空間再整備（ハード）と民間主体による公共空間利活用への支援（ソフト）の両輪により、多様な人々の出会いや交流が生まれる都心を目指しています。



青葉通駅前エリアのあり方検討

仙台駅前ならではのにぎわいや新たな魅力を生み出すことで、交流人口の拡大や経済の活性化を図るとともに、他のエリアへと導く回遊性の向上、居心地がよく歩きたくなる歩行者空間を創出します。



定禅寺通再整備

シンボルであるケヤキ並木を継承しながら、人々が安全・快適に通行・滞在ができる「ひと中心の空間」を形成し、多様なアクティビティが生まれ、交流や賑わいの創出につながる環境づくりを行うため、車線削減を伴う再整備を実施します。



公共空間利活用支援

都心部の歩道等において、快適に滞在できる休憩や飲食スペースなどの設置等に取り組む団体に対し、事業実装に向けた社会実験の共催、各種制度活用に向けた支援等を行っています。

企業の皆様へのメッセージ

仙台市におけるウォーカブルなまちづくりに資する公共空間再整備、都心部のエリアの価値を高める空間利活用の取組みに関心のある企業様、ぜひご検討ください。

(青葉通駅前エリアのあり方検討担当) : 都市整備局 都心まちづくり課 Tel022-214-8314
 (定禅寺通再整備担当) : 建設局 道路計画課 Tel022-214-8375、建設局 公園整備課 Tel022-214-5258
 (公共空間利活用支援担当) : 都市整備局 都心まちづくり課 Tel022-214-8311

八木山動物公園魅力アップ事業

新たな「ひと」の流れづくり

- 八木山動物公園の施設長寿命化再整備計画に基づき、老朽化が著しい園内施設の長寿命化対策とともに、動物園の魅力アップのための再整備を行っています。
- 園としての満足度向上を図る取り組みとして、学習施設としての機能、希少動物の繁殖・導入、イベントの開催など一層の充実を図ります。



施設の長寿命化対策を進めながら施設更新のタイミングに合わせた再整備（環境生態展示の充実、行動展示の導入、屋内展示施設の新設など）を進め、動物園の魅力アップに取り組んでいます。



国内外の動物園や研究機関と連携し、希少種の繁殖や生息域内保全に取り組むことにより、種の保存に貢献しています。また、動物の命や生息環境について考える学習の場としての機能も強化しています。



多くの皆様楽しんでいただけるよう、8月の夜間開園や、11月の八木山フェスタなど、年間を通じて様々な主催・共催イベントを充実させています。

企業の皆様へのメッセージ

1965年の開園以来、多くの皆様に愛され、年間約50万人のご利用をいただいております。また、おかげをもちまして令和7年には開園60周年を迎えます。これからも皆様に愛され続けるための、動物園ならではの取り組みにご期待とご支援をお願いいたします。

文化財の継承・普及啓発事業

新たな「ひと」の流れづくり

- 文化財は、我が国の長い歴史の中で生まれ、はぐくまれ、今日まで守り伝えられてきた貴重な国民共有の財産であり、仙台市の歴史文化等の正しい理解のためにも不可欠なものです。
- 本市では、文化財の指定・登録を通じた保護、発掘調査、修理や伝承者養成等への補助、史跡の公有化や整備、各種普及啓発事業など、文化財の保存と活用にかかる様々な取り組みを行っています。

仙台城跡の魅力を“磨き上げる”



仙台城跡（国指定史跡）は、仙台藩初代藩主・伊達政宗公が築城した城であり、本市の主要な観光地の一つです。本市では、青葉山の豊かな自然環境と調和した、歴史を学び・感じられる城郭らしい景観づくりに向け、仙台城跡の整備に計画的に取り組んでいます。また、仙台空襲で焼失した、日本最大級の大手門の復元を目指しています。

民俗芸能を“未来に伝える”



市内には、ユネスコ無形文化遺産「秋保の田植踊」をはじめ、神楽や鹿踊、剣舞などの民俗芸能が数多く継承されてきましたが、少子高齢化等による後継者・担い手不足が深刻化しています。本市では、民俗芸能のつどいや体験会などの民俗芸能に親しめる機会づくりや、保存会が相互に交流・連繋しながら保存・継承を目指す場づくりなどに取り組んでいます。

子どもたちの“ファンを作る”



市民が地域の歴史や文化に対する理解を深めたり、ふるさとへの誇りと愛着を持てるよう、様々な普及啓発事業に取り組んでいます。特に、次代を担う子ども達への理解促進に力を入れており、文化財課職員が講師として学校を訪問する出前授業、遺跡などでの校外学習の受け入れや職場体験などに積極的に取り組んでいます。

企業の皆様へのメッセージ

文化財は、地域の誇りであり貴重な資源です。御寄附いただくことで、地域文化の保護や観光振興に貢献いただけます。仙台の美しい文化財を私たちと一緒に、ともに未来へ残していきませんか？